

情報提供日: 令和4年7月15日

市内・金龍寺所蔵の国指定重要文化財 全16幅の掛軸一挙公開 「絹本著色十六羅漢像」複製公開展を開催(7/23~9/4)

龍ヶ崎市教育委員会では、金龍寺(きんりゅうじ・龍ヶ崎市若柴町)所蔵・国指定重要文化財「絹本著色十六羅漢像(けんぼんちやくしよくじゅうろくらかんぞう)」複製公開展を令和4年7月23日(土)から9月4日(日)まで歴史民俗資料館で開催します。

この羅漢像は、鎌倉時代後期から南北朝時代前期ごろに作られたと考えられ、全16幅で構成される掛軸です。大正6(1917)年に国指定重要文化財に指定され、現在は茨城県立歴史館に寄託されています。

保存の観点から常設展示ができず、実物を見る機会は、ほぼありません。そこで、本市教育委員会では、平成29年度から1年に4幅ずつ複製作業を行いました。

令和2年度にはすべての作業が完了し、本市ゆかりの名品をより多くの方にご覧いただくことが可能となりました。

全16幅の公開は昨年度に続き2回目。昨年度は新型コロナウイルスの影響で公開を一時中断したことから、今回あらためて開催するものです。

最新のデジタル技術と熟練の職人の手作業により実物を忠実に再現しました。荘厳な雰囲気を出す羅漢像が並ぶ姿は一見の価値があります。

本市が誇る名品の公開展の周知に、報道機関各位のご協力をお願いします。



▲過去に開催した様子

■日 時	令和4年7月23日(土)~9月4日(日)午前9時から午後5時まで ※休館日(月曜日)を除く
■場 所	龍ヶ崎市歴史民俗資料館 企画展示室(所在地:龍ヶ崎市馴馬町2488番地)
■主催等	主催:龍ヶ崎市教育委員会/協力:金龍寺
■詳 細	・「絹本著色十六羅漢像」掛軸全16幅の複製のほか、複製作業時の工程紹介や金龍寺に関するパネルを展示 ・8/21(日)・28(日)に本館職員によるギャラリートークを実施 ※午前11時から、30分程度、先着各10名
■入場料	無料
■資 料	・公開展チラシ ・令和3年度開催時資料(小中学生向け)

担当課	龍ヶ崎市教育委員会 文化・生涯学習課 文化学習推進グループ(歴史民俗資料館) 担当者:鈴木・伊藤(すずき・いとう) 連絡先:0297-64-6227 (直通)
-----	---------------------------------------------------------------------------------------